

# 佐志岳、志々伎山、上段の野～平戸の絶景お花畑めぐり～

【報告者】H田

【日時】2019年10月27日

【天候】曇のち晴れ

【参加者】H田

## 《コースタイム》

- 1) 佐志岳 9:00 佐志岳登山口→佐志岳山頂→11:00 佐志岳登山口
- 2) 志々伎山 11:30 志々伎山登山口→志々伎山山頂→13:30 志々伎山登山口
- 3) 上段の野 14:00 志々伎の浦漁港公園→上段の野→16:00 志々伎の浦漁港公園

## 《 報 告 》

かの山頭火さん(俳人)は、昭和7年に平戸を訪れ、「日本は世界の公園である。平戸は日本の公園である。」と日記に記したのだそうです。

10月末から11月はじめ頃、平戸のお山を訪れたいくなります。この時期ここにだけ自生すると言われる可憐なお花に出逢えるから。今回の山旅は、そんな日本の公園にあるお花畑めぐりです。

### (1) 佐志岳

この日最初に訪れたのは、佐志岳。標高は347mと低いですが、春先に野焼きが行われる草原のお山です。駐車場から山頂までの距離は短いですが、中腹に岩場があり、その周りがお花畑なのです。ツブキ、ヤマハッカ、ヤマジノギクなど、お馴染みの野草を眺めながら、少しずつ登っていくと、チョウセンノギクに出会えました。園芸種のマーガレットのような愛らしいお花、日本で見られるのは長崎、鹿児島の一部なんだそうです。10分ほど歩いて岩場に着くと、お目当てのイトラッキョウが咲いていました。平戸島の固有種と言われている赤紫色のお花で、特に数少ない白花は、オトメラッキョウと呼ばれています。この日2株だけ見つけました。この岩場周辺はお花の種類も多いので、時間をかけてお花を探して歩きます。ダンギク、イブキジャコウソウ、ムラサキセンブリ、センブリ、ヒヨドリバナ、オトコエシ(オミナエシの白花)、それからススキに寄生するナンバンギセルも咲いていました。お花探しに飽きたら、山頂へ。振り返って見下ろすと、平戸の海がキレイでした。



佐志岳からの眺望



チョウセンノギク



イトラッキョウ



オトメラッキョウ



ダンギク



イペキジャコウソウ



センブリ



ムラサキセンブリ



ヒヨドリバナ



オトコエシ



ナンバンギセル



ヒナヒゴタイ

## (2) 志々伎山

志々伎山は、標高は佐志岳と同じ 347m ですが、山容は全然違い、海からそそり立つような岩峰が格好良いお山です。九州百名山のひとつで、古の時代から海路の重要な目印であり、霊山として崇められていたらしく、かつては女人禁制で、山頂近くの神域へは草鞋を脱いで裸足で登っていたそうです。鳥居からはじまる登山道は志々伎神社の参道で、中腹にある中宮を過ぎると、所々岩場も出てきます。信仰の山だけあって色んな方が登られるので、歩きにくい場所にはしっかりロープが張ってあります。1 時間ほど歩いて山頂に着くと上宮があり、見渡すと 360 度広がるパノラマの景色は、平戸の海から五島の島々まで見渡せる絶景で、何度来てもまた訪れたいくなります。



志々伎神社の中宮



岩峰の上が山頂



山頂の上宮



イトラッキョウと海



## (3) 上段の野

上段の野も、佐志岳と同じようにお花好きが集まる草原のひとつです。いちおうピークがあり、標高は 190m。草原の入り口まで車で行くこともできますが、海辺にある漁港公園の駐車場から歩いて登りました。畑道を抜けて草原入口に着くと、休憩できる東屋があります。草原地は歩きやすく整備された遊歩道になっていて、歩きはじめからワレモコウ、オケラ、イトラッキョウ、ムラサキセンブリなどのお花が次々に出てきます。見晴らしの良い草原歩きは、景色も良好。ススキやメガルガヤなどの草が風に揺れる光景もいいですし、さっき歩いて来た志々伎山や周りの海も見渡せて、夕暮れ時にのんびりす

るには最高のロケーション。近くがあれば毎日でも歩きたくなる、そんな場所です。



上段の野



イトラッキョウ



オケラ



タヌキマメ



ヒナヒゴタイ



ワレモコウ



ムラサキセンブリ



山頂より。正面に見えるのは志々伎山。

《位置図》

